



暑さも少しずつやわらぎ、吹く風に秋の気配を感じるようになってきました。過ごしやすい気候になり、幼児組さんは園庭で鬼ごっこやかけっこなどで体を動かしたり、小さいクラスの子ども達もポーターを押したり、ままごと遊びなど存分に楽しんでいます。

戸外遊びや散歩を通して、身体的な体力の向上やストレスの軽減、五感を刺激し、情緒面にも働きかけていきたいと思います。



○後期歯科検診

11/21(金)9:00~

園歯科医 山田歯科矯正歯科
山田医師

○後期健康診断 10/8(水)13:30~

園医 やまみこどもクリニック 澁川医師

年に二度義務づけられていますので、健診のご協力をよろしくお願いいたします。

※先生が来園します。休まず受けましょう。

都合でお休みの際は、その時間のみの登園をお願いします。

RSウイルス感染症

秋から冬にかけてRSウイルス感染症が流行しやすい時期です。(こぼうしこども園でも、流行の兆しが見られます。)RSウイルスは身近なウィルスで、免疫のある大人にはごく軽い風邪ですが、子どもがかかるとう重化しやすい感染症です。

症状は??

咳がひどい風邪と思われがちですが、乳幼児では高熱が数日続くこともあります。
“ゼイゼイする息苦しさ” もみられます。

注意が必要です!!

初めてRSウイルスにかかったときに重い症状になりやすいのが特徴。
気管支炎や肺炎で入院が必要になることも。

乳幼児の下痢について

先日、らくらくメールでお伝えした表です。再度ご確認ください。

タイプ	便の状態	排便の状況	傾向
1	木の实状のコロコロした便	(排便が困難)	便秘傾向
2	ソーセージ状だがでこぼこした硬い便		便秘傾向
3	表面にひび割れのあるソーセージ状の便		便秘傾向
4	軟らかいソーセージ状の便		正常
5	軟らかいが形がはっきりした半固形状の便 (排便が容易)		正常
6	軟らかい泥状の便		下痢傾向
7	水様の便		下痢傾向

乳幼児期によくみられる下痢症状。夏風邪や胃腸炎として診断されることが多いです。

下痢といっても便の状態や回数も様々。「感染したら〇日休まなくてはいけない。」という明確な出席停止期間はありません。厚生労働省は「嘔吐、下痢症状が治まり、普段通りの食事が摂れていること。」を登園の目安としています。下痢の症状は大人でも仕事に行くのが辛く、体のだるさを感じます。体がまだ小さく未発達な子どもなら、更に辛いはずです。

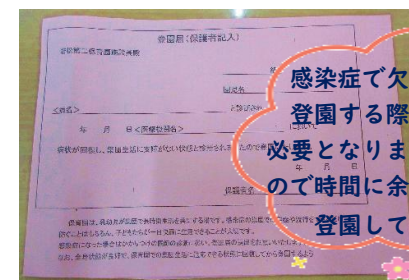
また、下痢は脱水にもなりやすく、急に体調が悪化することも。元気だからといってすぐに登園するのではなく、便の回数、便の柔らかさ、水分が摂れているかをしっかり確認しましょう。

感染することも考えられるので、ただの下痢だと甘くみず、下痢の際は小児科を受診しましょう。

無理をして登園することで、ぶり返したり更に悪化したりすることもあります。

これから寒くなってくると、ノロウイルスやロタウイルスなど感染性の胃腸炎などの流行が増える傾向がみられます。元気に登園できるよう、早めの休養や休息を心がけ長引かせないようにしましょう。

脱水の程度	軽症	中等症	重症
意識状態	正常～ 少しうとうと	眠りがち	意識がない
尿の量 尿の色	正常～少し少ない 正常～少し濃い	少ない 濃い	尿が出ない
口の中	湿っている	乾燥している	ひどく 乾燥している
涙	出る	少ない	出ない
皮膚の緊張	正常	低下している	ひどく 低下している
手足	正常～ 少しひんやり	ひんやり	冷たい



感染症で欠席し、休み明け登園するには登園許可書が必要となります。記入が必要ですので時間に余裕をもって登園して下さい。

